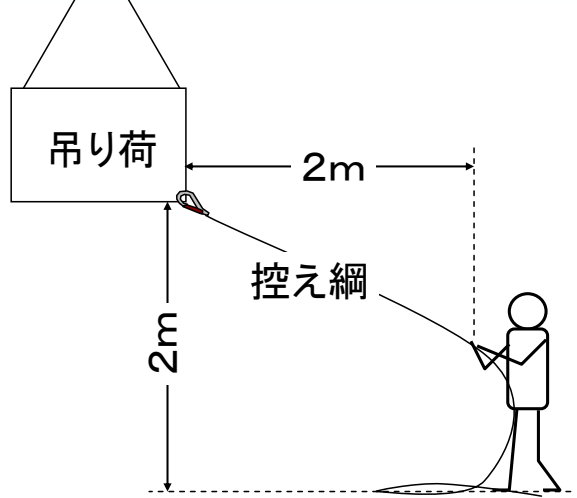


控え綱の安全化



- 玉掛け作業で吊り荷を徐々に巻き下げる際に、高さ2mくらいになると、つつい近づき易い。
- この時の退避距離は2m以上としているが、現場の作業者には具体的な退避距離は判らない。
- 退避距離は個人の感覚に頼っており、接近し過ぎて荷振れ等でヒヤリとする事例があった。

⇒ 控え綱に目印を付けて安全化を図る

